

東京都医学総合研究所 人対象研究に係る公開事項

課題名	新型コロナウイルスへの抗体等の定量的検査に関する基礎的及び臨床的研究	
研究責任者	東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクト 特任研究員 小原 道法 TEL 03-5316-3100 (代表)	
試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>本研究の目的は、都民の新型コロナウイルスへの抗体保有率を調査し、感染の広がりを把握することで、感染の拡大防止対策に大きく貢献することです。</p> <p>また、都の特別研究として、新型コロナウイルスのワクチン開発を進めており、この過程で開発した、都医学研独自の抗体検査法の性能について検証することも目的としています。</p> <p>1)検体の採取 都立・公社14病院の定期検査等で発生する血液検査の余剰分（血漿・血清）を用います。</p> <p>2)観察項目 ＜抗SARS-Cov2抗体測定（定量）＞ 定期採血などの余剰検体を都立・公社14病院から収集し、血清・血漿サンプル（0.2ml）を自動測定装置を用い、サンプル中のコロナウイルスを認識する抗体量の測定を行います。</p> <p>＜カルテ情報＞ 必要に応じて抗体測定者のカルテ情報（感染を疑わせる臨床所見等）を既存情報として事後的に収集します。</p> <p>＜その他＞ 抗体測定後の余剰検体を用いて、別の研究に用いる場合があります。</p> <p>＜全国統一データ解析＞ 匿名化されたデータを、同じ測定機器・方法を共有している利用者協議会幹事会（代表 東京大学アイソトープ総合センター准教授川村猛）での全国統一データ解析のために利用します。</p> <p>＜抗原性の詳細な解析＞ 東京都医学総合研究所、東京大学先端科学技術研究センターは共同して、新規の抗原タンパク質をコートしたビーズを用いて、抗体陽性検体例において、抗原性のより詳細な検討を行います。</p>	
試料・情報の他機関への提供	あり なし	次欄の各項目について、各共同研究機関に提供します。
利用し、又は提供する試料・情報の項目	試料：血漿・血清 情報：カルテ情報（年齢・性別および発熱履歴などの感染が疑われる臨床所見等）	
利用する者の範囲	研究機関	東京大学先端科学技術研究センター
	研究責任者	がん・代謝プロジェクトリーダー 児玉 龍彦
試料・情報の管理責任者	研究機関	東京大学アイソトープ総合センター
	研究責任者	教授 和田 洋一郎
研究計画書等の入手又は閲覧 (入手・閲覧の方法)	東京都医学総合研究所 感染制御プロジェクトリーダー 安井 文 研究対象者又はその代理人の方は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内に限り、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。 研究責任者（小原 道法）あてお問合せください。	
個人情報の開示手続及び手数料の額	匿名化された個人情報が送付されるため、開示できません。	
研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応	研究責任者（小原 道法）あてお問合せください。	